

第2回 設備女子会（2013.6.26開催）が、メディアで取り上げられました。

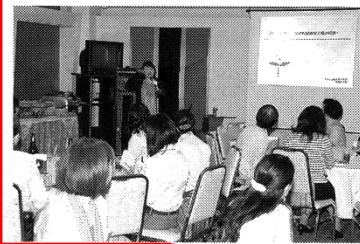
大感
で実習



場を初めて持つてみたが、考えていた以上に重く、足場の上に登ってみると想像以上に高く感じた。だからこそ、安

延べ床面積以上の施設にループホーム0平方メートル以上で設けられている。しかし、現行基準を撤廃にもスプリ求める。また、川美佳さんが、自身が携わっている仕事（植物工場の研究）や働き方を紹介した写真、会場からは「ストレスの発散はどっついているか」などの質問が出された。

設備女子会は2012年11



宅生産産団連合会は26日、低層住宅における2012年分の労働災害発生状況を発表した。工事1000棟当たりの労働災害発生率は0.83で、前回調査に比べ0.22

6月26日 株式会社社団法人環境推進センター 自然環境局 自然環境推進課 環境推進課 環境推進課 環境推進課 環境推進課 環境推進課

仕事、働き方を紹介
親睦深める

建築設備技術者協会「設備女子会」（徳弘洋子会長）の第2回交流会が26日、東京都新宿区の東京ガス四谷クラブで開かれ、約50人が参加し親睦を深めた。会では新菱冷熱工業中央研究所に勤務する佐川美佳さんが、自身が携わっている仕事（植物工場の研究）や働き方を紹介した写真、会場からは「ストレスの発散はどっついているか」などの質問が出された。

設備女子会は2012年11月16日、「建築設備士の日」の式典で、正式に設立が発表された。

佐川さんは働き方について、「自分たちの研究成果が社会に役立つ産業に育つことが夢だ」とし、「研究チームのメンバーが働きやすい環境を作りたい」と心掛けているなどと述べた。

この日は、運営委員の一人である宮坂裕美子さん（日建設計）が、「最近、女性の活躍が脚光を浴びている」として、「皆さんの協力で、第2回交流会が開催できた」と感謝の意を表して会が始まった。

佐川さんは働き方について、「自分たちの研究成果が社会に役立つ産業に育つことが夢だ」とし、「研究チームのメンバーが働きやすい環境を作りたい」と心掛けているなどと述べた。

6月26日 株式会社社団法人環境推進センター 自然環境局 自然環境推進課 環境推進課 環境推進課 環境推進課 環境推進課

計画を了承

作業費7%減

6%増)。10平方メートル(142億円)、答申し、工業用地35万8000平方メートル(13.0億円、清水港)に3.0億円、清水港

方(23億円)を整備する計画。主な整備計画として、吉小牧港(四港区)に2.1億円、仙台塩釜港(仙台港区)に3.8億円、鹿島港(外港地区)に3.8億円の資金をそれぞれ融通する。

(新興津地区)に16.7億円、水島港(玉島地区)に6.9億円、高松港(朝日地区)に11.5億円、鹿児島港(新港区)に13.8億円の資金をそれぞれ融通する。

佳さん(新菱冷熱工業)が「私の仕事」と題し、自身が取り組んでいる植物工場の研究や働き方を紹介しながら交流を深めた。

設女会は昨年11月18日の「建築設備士の日」に発足した。女性技術者が情報交換・発信を行い、活躍の場を広げることで社会に一層貢献していくことが目的。賛同する女性であれば、会員・非会員を問わず誰でも入会できる。6月26日時点で141人が参加している。第3回の交流会は11・12月に開催する予定だ。

佐川さんが自身の仕事紹介

設備女子会交流会 50人が参加

建築設備技術者協会(JABME)の「設女会」(設女会、徳弘洋子会長)は26日、東京都新宿区の四谷クラブで活躍する女性約50人が参加。運営委員の佐川美

2回目の交流会を開いた写真。設計事務所やゼネコン、設備工事会社、団体などさまざまな職場で活躍する女性約50人が参加。第3回の交流会は11・12月に開催する予定だ。



国土技術開発賞に入賞した。10年目には舞鶴若狭自動車道で8月の盛り高

法として益々発展することを確認している」と語った。

拡大を図る。デザイナービュースタール「かたくりの里」は、利

後開設する施設していく

設備女子会・第2回交流会

仕事ぶりなど情報共有

JABMEE

建築設備技術者協会(JABMEE、川瀬貴晴会長)の下部組織として昨年設立した設備女子会(徳弘洋子会長)は26日、東京・新宿区の新宿区四谷クラブで第2回となる会員交流会を開催した。初の試みとして会員が自身の仕事ぶりや普段考えていることを紹介する「私のしごと」というコーナーを設け、女性同士だからこそ言える本音などを交え



つつつ親睦を深めた。現在、会員数は141人。ゼネコン、設備工事会社、設計事務所だけでなく、大学や自治体など幅広い職種の会員が集う。今回の交流会には約50人が出席した。第1回目の「私のしごと」では、同会の運営委員も務める新菱冷熱工業中央研究所(生物環境グループ)専任課長の佐川美佳さんが登壇。佐川さんは、医療に活用できる機能性植物などを栽培する最先端植物工場の研究実態を紹介し、「研究を進展させて社会に役立たせることが夢。また、働きやすい職場環境にも気を配っている」と話した。意見交

換では、いつしか仕事の話を離れ、趣味や好きなアイドルなどの話題に和やかに交流会は進行した。今回の交流会は11月12月を予定している。

人事 機構改革

竹中工務店 (7月1日) 東京本店次長(大坂本店見積部長) 遠藤嘉之▽同技術部長(東京本店作業所長) 岡村克己▽同総括作業所長(同技術部長) 金尾武典(大坂本店見積部長) 大坂本店作業所長 中原淳▽同集合住宅センター所長(同集合住宅センターアフターサービスグループ長) 山村浩二 浅沼組 (6月27日) 退任 専務執行役員

員 森本寿之 大本組 (6月27日) 熟 (顧問) 吉田泰三 ナカノドール 建設 (6月27日) 取 員(担当) 経営企画部・総務部(取締役) 経営企画部(担当) 経営企画部(担当) 大末建設 (6月27日) 取 役員経営企画部担当役員補佐 全三信建設工業 (6月27日) 東 部部長(関西支店) 治▽関西支店支店 店営業担当部長(イチケ)

再考

アル事業▽糸満市役所—の3件が受賞した。

度は相応しいのか、さまざまな立場の人と考える

いきたい」と抱負を述べた。

題として「第1番目は若年労働者の確保に重点を置き、賃金引き上げ社

ーリング材タイアップを強化を進め、

設備女子会 次世代型植物工場の整備・運営で意見交換



建築設備業界で働く女性たちが集まり、職能を通じた情報交換を行う交流会が26日、都内で開かれた。写真。建築設備技術者協会(JABMEE、川瀬貴晴会長)の内部組織として発足、ことし1月に「設備女子会」として行った

る新菱冷熱工業中央研究所茨城県つくば市の佐川美佳専任課長が、「私のしごと」と題して普段取り組んでいる研究の内容などについて話した。次世代型植物工場の整備・運営から遺伝子組み換え植物の効率的な栽培方法まで、バイオテクノロジーの最先端分野と建築設備の関わりについて活発な意見が交わされた。